

木材の保存処理 □木材の保存処理は、以下のとおりとする。（注入性状が極めて困難かつ心材の耐久性が極大以外の樹種については加圧注入処理を行なう。）

◇標準保存処理

○木材保存剤は、下表とする。

木材保存剤

分類	木材保存剤の種類	記号
水溶性	第四級アンモニウム・アゾール・ネオニコチノイド化合物系	AZNA
	銅・アゾール化合物系	CUAZ-2
	銅・第四級アンモニウム化合物系	ACQ-1
	第四級アンモニウム化合物系	AAC
	ほう素・第四級アンモニウム化合物系	BAAC
	アゾール・第四級アンモニウム・非エステルピレスロイド化合物系	AZAAC
	第四級アンモニウム・非エステルピレスロイド化合物系	SAAC
乳化性	ナフテン酸銅系	NCU-E
	ナフテン酸亜鉛系	NZN-E
	バーサチック酸亜鉛・ピレストロイド系	VZN-E
油溶性	ナフテン酸金属塩	NCU-0
	ナフテン亜金属塩	NZN-0
	ネオニコチノイド・アゾール化合物	AZN

○木材保存剤の種類、品質、性能等はJIS K 1570（木材保存剤）、JIS K 1571（木材保存剤性能基準及び試験方法）による。

○加圧注入処理方法は JIS A 9002（木質材料の加圧式保存処理方法）による。

○加圧式保存処理材の性能については 標準として風雨が直接さらされる部材においては 日本農林規格（JAS）K4 および優良木質建材認証（AQ）1種 を、雨水がかからない箇所で使用される部材はJAS K3（AQ 2種）とする。

○木材保存剤の種類によっては処理後の外観が緑色等に変わるものがあるため注意すること。